



[トップ](#) [暮らしの情報](#) [文化・スポーツ](#) [生涯学習・社会教育](#)

ひので映画大使最新版

[2016年7月14日]

第73回映画大使「アリス・イン・ワンダーランド／時間の旅」

- ・ 期日 平成28年7月4日(月曜日) ※公開4日目！
- ・ 場所 イオンシネマ日の出

作品紹介

ジョニー・デップが奇天烈な帽子職人『マッドハッター』を演じた大ヒット・ファンタジー「アリス・イン・ワンダーランド」の続編。

出演はジョニー・デップやアリス役のミア・ワシコウスカをはじめ、アン・ハサウェイ、ヘレナ・ボナム・カーターら前作の豪華キャストが再登場するほか、「ブルーノ」「ボラット」のサシャ・バロン・コーエンを敵役の『タイム』として加え、さらに豪華キャストとなる。

監督は「ザ・マペッツ」のジェームズ・ボビンが監督を務め、前作の監督ティム・バートンは製作に回った。2016年1月に他界した名優アラン・リックマンも前作から引き続き声の出演を果たしており、本作が遺作となった。

美しく成長したアリスは、亡き父がのこしたワンダー号の船長となり、3年に渡る大航海を成功させてロンドンに戻ってきた。そこで彼女は、友だちの『マッドハッター』の危機を知り再びワンダーランドへと舞い戻る。心を閉ざした『マッドハッター』を救うため、時間をさかのぼって繰り広げる禁断の冒険の行方を、ハリウッド史上最もゴージャスな映像絵巻として描きだす。

代替版キャストには前作に引き続き、深田恭子がアン・ハサウェイ演じる『白の女王(ミラーナ)』役を続投、ミラーナの姉『赤の女王(イラスベス)』役には声優として『鋼の錬金術師』のエドワード・エルリックを代表作に持つ朴 璐美が務め、魅力的なキャラクターをより一層引き立てている。



(C) 2016 Disney Enterprises, Inc. All Rights Reserved

映画大使の「感動と感想」をお伝えします。

このコーナーは、映画を見た感想や感動を、ストーリーは伏せて「みなさん」に紹介するコーナーです。

映画大使の「第一声！」

- ☆ 前作よりも更に面白かったです！
- ☆ 考えさせられてしまうようなとても良い作品でしたね！
- ☆ とにかく映像がカラフルで綺麗でしたね！
- ☆ すごく迫力のある映像でしたね！
- ☆ 大人も子どもも楽しめる作品だと感じました。



今回参加された、映画大使の皆さんです！
前列中央の大使の方が、今回の作品に登
場する『マッドハッター』の帽子をかぶら
れています。

映画大使の「映画のツボ！」

Aさん

素敵な映像と気持ち良いリズムでしたね。映像と音楽が良くあっていたなと思いました。アリスが薄化粧で見事な表情を展開していくので、それにも感動しましたね。

この作品を観て一番に感じた事は、時間はとても大切に使う必要があるのだなと思いました。日ごろから意識はしてはいるのですが、一瞬一瞬となってきました。「今日はいいかな」と思ってしまったりするのですが、時間は一瞬が永遠に続いていて後戻りが出来ないもので、前へ前と進んでいくものなのだと考えてしまいました。

楽しくて面白くて、奇想天外な映像の連続でしたが、中身はなかなか深いものがあり、考えさせられてしまうようなとても良い作品でした。

Bさん

ファンタジックで、とにかく映像がカラフルで綺麗でしたね。

ワンダーランドでのお茶のシーンは、ケーキがとても美味しそうでしたし、ブルーやピンクやイエローなどが使われていて、色がとてもさわやかなでした。私は、そのシーンをとても大好きです。

秒が集まると分になり、分が集まると時間になる事を、ロボットを使い表現していたのが面白いなと思いましたし、印象的でしたね。

Cさん

映像がカラフルである事と、現実の世界とワンダーランドの世界を色の使い方の違いで上手に表していたなと思いました。例えば、同じような家を色の違いで違う世界である事を表現していましたね。

この作品の中の時間や『過去に戻る事についての考え方のセリフ』で、とてもいい言葉がありました。その言葉は、普段の生活の中でもその事はよくわかるなと思いましたね。私も過去に戻りたいと思うことはありますが、過去への考え方を学ぶ事の出来た作品でした。

Dさん

この作品の主題は『時間』でして、過去を変えるために時間を遡るという物語です。私も常日頃、あの時にこうしておけばなどという事だと思います。

この作品の中の『過去に戻る事についての考え方のセリフ』についてですが、私も心に残りました。しかし、私は反省するのですが、それを元に何らかの成果を上げた事はありません。日々毎日を平平凡々に暮しているだけです。振り返ってみればそれも良いのかなと思います。1分1秒を大切に生きる事も大切だとは思いますが、私には堅苦しくて出来ない事ですので1日単位くらいが良いのかなと思いましたね。

Eさん

すごく迫力のある映像でしたね。時間との戦いは観ていてハラハラドキドキしました。

ストーリーがしっかりと出来ていて、最初の頃にわからなかった事がだんだんわかって来て、結末に物凄く感動を覚えましたね。

アドベンチャーあり、ファンタジーあり、メルヘンチックありで、大人も子どもも楽しめる作品ではないかなと感じました。

Fさん

私は、前作を観ています。前作よりも更に面白かったです。

また、この作品は、現実の世界での出来事をしっかり描いており、ワンダーランドでのアリスの使命感がはっきりしているので物語に入り込みやすかったです。現実の世界とワンダーランドの世界の色を変えていて、現実の世界を暗く、ワンダーランドは華やかに描いているので、物語がいろいろと展開していききましたが、わかりやすかったですね。

そして、この作品で伝えたいテーマであります『過去に戻る事についての考え方のセリフ』は、凄く説得力がありましたね。

Gさん

私も前作を観たのですが、前作はアリスが小さい頃にワンダーランドに迷いこんだ時の記憶を、大きくなったアリスがたどりながら不思議な登場人物などと再会していく話でした。前作の他にもディズニーアニメの「不思議の国のアリス」も観ているのですが、今回の作品を観てアリスが成長して大人になり、たくましくなったと感じられました。

ストーリーもどんでん返しがいくつもあり、凄く面白いなと思いましたね。

Hさん

私は前作を観ていなかったのですが、今回初めてだったのですが、どのような話なのか楽しみにしていました。

映像の素晴らしさに感動して、凄く良い映画だなと思いましたね。

私が特に感じたのは時間の大切さもありますが、友情や家族などという大切なものの事です。気持ちのつながった友人達と二度と会えなくなった時の締め付けられるような切なさを感じられて、その部分でも素晴らしい映画だなと思いました。

誰かの形見の品物のように大切な思い出のある品物に私もつい執着してしまうのですが、その人と過ごした時間が自分の中に刻まれている事が凄いなのだと感じましたね。

Iさん

友人を助けるためにいろいろな事をして他人のために行なう事に価値があるという事と『過去に戻る事についての考え方のセリフ』が心に残りました。

映像が凄く迫力がありましたね。

作品の内容(印象に残ったシーンなど)

- ・ジョニー・デップはこのような役が似合いますね。
- ・思わぬところに手が込んでいる作品でしたね。
- ・赤の女王の顔の大きさにびっくりしました。
- ・いろいろなところに伏線がありましたね。
- ・度肝をぬく素晴らしい作品でしたね。
- ・もう一度観たいですね。
- ・2D版も迫力が凄かったのですが、3D版はもっと迫力が凄いでしょね。
- ・吹替えの声優さんの声もキャラクターに合っていましたね。
- ・私は赤の女王が好きです。可愛らしいと思いますね。

まとめ

この作品は、コンピューターグラフィックスを駆使して戦闘シーンなどは迫力がありスピーディーに、ワンダーランドや『マッドハッター』などのワンダーランドの住人は、きらびやかで色彩豊かに、そしては幻想的に描かれています。それにプラスし、現実の世界と幻想の世界がわかりやすく表現されており、更に複雑な時間軸が含まれる物語を観やすくする工夫がされています。また、前作を観ていなくても楽しめる作品になっていますが、前作を観ているといろいろなところにつながりや伏線が隠されており、更に楽しみが増す作りにもなっています。

そのような作品だけあって、今回参加された映画大使の方の全ての方が、3D版を含めもう一度観てみたいと話されておりました。やはり迫力あるシーンを3Dで観てみたいという方や、今回前作を観ずに参加された方は、前作を観てからもう一度観てみたいとおっしゃる方が多かったです。

今回は2D吹替え版を観たのですが、上映前の『今後公開予定作品』の紹介に本作の3D吹替え版の紹介が流れました。今まで上映する作品と同一の作品の『今後公開予定作品』の紹介を行なったのを観た事が無かったため驚きましたが、観終わりその意味がよくわかりました。

この作品には今回観た2D吹替え版の他に、2D字幕版、3D吹替え版の3種類が公開されており、力の入れ込みようがうかがえます。

いろいろなテーマやメッセージが盛り込まれていて、映像も綺麗でファンタジックでありながら、迫力のあるシーンもあり、エンドロールなど細部にまでこだわって作られているため、大人も子どもも楽しんで観ていただける作品になっています。

映画は是非、劇場の大スクリーンでご覧ください！

映画大使では、年代も性別も違う方達が、それぞれ意見を出し合いひとつの映画について話し合うという、日ごろできない経験をする事が出来ます。映画を観て自分がこう思っただけではなく、自分と年齢や経験などの違う人の目線で観た事を聞く事により、違った発見があるので、ひとつの映画が何倍にも広がって行きます。

今後も「ひので映画大使」にご期待ください！！

関連ページ

- [これまでのひので映画大使](#)
- [ひので映画大使のトップに戻る](#)

お問い合わせ

東京都 日の出町 文化スポーツ課 社会教育係
電話: 042-597-0511(内線541) ファクス: 042-597-6698

ひので映画大使最新版への別ルート

[トップ](#) [新着情報](#)

Copyright (C) Hinode Town All Rights Reserved.